

十勝圏複合事務組合における 新中間処理施設の整備検討状況の報告について

十勝圏複合事務組合では、新中間処理施設の整備について、十勝管内19市町村で構成する「新中間処理施設整備検討会議」を設け、検討をすすめています。この度、検討会議において、地質調査結果が示されたことから、その概要について報告するものです。

1 目的

新中間処理施設建設地において地盤調査を行い、地質構成及び地下水位状況等を把握し、今後の施設設計及び施工に必要な地質資料を得ることを目的とします。

2 調査内容

- (1) ボーリング調査
- (2) 標準貫入試験
- (3) 土質試験

3 調査結果

(1) 地質構成

建設地の地質は、深度9m程度まで粗粒土を主体とする十勝川の氾濫原堆積物が分布しており、表層部は軟弱な砂層が敷地全体に広く分布しています。また、旧河道箇所は、十勝川の氾濫原堆積物とは異なる細粒土が局部的に見られ、この流路に沿って分布するものと考えられます。なお、深度9m程度以深については、密実な砂と固結シルトの互層からなる渋山層が確認され、氾濫原堆積物の基盤を構成しています。

地下水位は深度2.45～3.50mで確認されました。

(2) 地盤支持力

渋山層は、プラント等の大規模な構造物の支持層条件を満たしています。

(3) 土質

掘削により発生する土砂は、盛土や敷地造成で利用が可能です。

4 事業スケジュール

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
施設整備基本計画							
測量・地質調査							
生活環境影響調査							
PFI事業導入可能性調査							
事業者募集・選定							
施設実施設計・建設工事							

※ 今後の社会・経済情勢により、事業工程が変動する可能性があります。